

ゆなかの 区議会だより

No. 202 平成19年(2007年)1月21日

編集・発行／中野区議会

〒164-8501 中野区中野4-8-1
電話 3228-5585 FAX 3228-5693
Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp
ホームページ <http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/>

第4回 定例会

中野区組織条例の 一部改正など11議案を可決

区議会は第4回定例会で、「中野区組織条例の一部を改正する条例」、「中野区副区長定数条例」、「東京都後期高齢者医療広域連合の設立について」など、区長提出10議案のほか、議員提出1議案を可決しました。また、助役、収入役、監査委員の選任および教育委員会委員2人の任命に同意しました。

議案・陳情に対する討論

請願・陳情については、1件を採択し、1件を不採択としました。

議案・陳情の審査にあたり、次の議員が討論を行いました。

《議案》

平成18年度中野区一般会計補正予算

◆反対討論

長沢 和彦

(共産)

中野区組織条例の一部を改正する条例

中野区副区長定数条例

①②に賛成討論
山崎 芳夫 (自・民)

《陳情》

区議の費用弁償に関する陳情

賛成討論

佐藤 ひろこ

(審議結果 不採択)

◆①②に反対討論
小堤 勇 (共産)

◆②に賛成討論
はつとり 幸子 (市民)

◆②に反対討論
藤本 やすたみ (民主)

奥田 けんじ (無所属)

(審議結果 いずれも可決)

中野区議会定例会（一般質問）をテレビ放送します。

中野区議会では、JCN中野（シティテレビ中野）で、議会のテレビ放送を行っています。内容は、各議員の一般質問などの録画放送です。放送予定などは、決まり次第、中野区議会ホームページに掲載します。



【問合せ】区議会事務局（電話3228-5585）

中野区議会ホームページをご利用ください

中野区議会では、いち早く区民のみなさまへ情報をお届けするため、ホームページを開設しています。会議録、委員会資料、議員紹介、区議会からのお知らせなどがご覧いただけます。ぜひご利用ください。



中野区議会ホームページURL <http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/>

主な掲載記事

区政をただす	2～5面
可決した議案	5面
請願・陳情の審議結果	6面

第4回定例会

一般質問

区政をただす

中学生までの医療費の

全額無料化を実施せよ



自由民主党・民社クラブ 大内 しんご

17年は、初めて出生数が死亡数を下回り、人口減少社会が到来した。中野区の合計特殊出生率は0・75と全国でも下から3番目であり、少子化傾向が続けば、地域全体、ひいては区政にも多大な影響を与える。都は先頃、中学生までの医療費の1割を助成すると発表したが、少しずつ施策を拡大するのではなく、区独自の施策を拡充すべきである。区は17年度から、小学生の入院費を無料としているが、思い切った施策を展開することも時には必要だ。中学生までの医療費の全額無料化を他区に先駆けて実施し、少子化対策を明確に打ち出すべきではないか。

野方駅北口開設に向け
定期的な協議の場を設けよ

①野方駅北口開設に向け、地元の機運を持続させるためにも、「野方駅北口開設連絡協議会」などを組織し、さまざまな意見交換を行う時期にきているのでは。②駅北口のエレベーターとエスカレーターの下の空間活用も考えるべきでは。祭りや町会の交通安全期間の居場所とすることも検討すべきではないか。

区長 ①基本設計が
まとまった段階で、説明
会を開催する予定である。
また、地元商店会や町会、
地域住民からの意見を求
める場を設けていく。②
北口の階段やエスカレー
ター下の空間活用につい
ても、検討していく予定
である。

いじめ問題に取り組み

18年11月以降、相次いで子どもの自殺の記事が新聞紙上に掲載された。①各学校での児童・生徒からの相談体制の現状は。②いじめの根絶には、学校とPTA、地域の関係団体が協議する機会を設け、対策を進める必要がある。教育委員会の取り組みは。

教育長

①子どもや保護者が、養護教諭や心の教室相談員などに対し、相談できる体制をとっている。②今後は、家庭の協力を得て、関係機関との連携を十分に図り、取り組みを進める考えである。

公平、平等な
保育サービスの充実を

区長 平成19年10月から、中学生までの入院・通院にかかる医療費の自己負担額3割分全額を助成し、医療証による現物給付の方法で実施する方向で検討している。

保育サービスは、区民が公平な負担で平等に受けられるように充実を図る必要がある。

①延長保育は、全保育園で実施すべきではないか。②病後児保育、一時保育、年末・休日保育は地域によって格差がある。身近な所でサービスが受けられるようにすべきではないか。③認証保育園は、認可保育園を補完する重要な役割を果たしているが、保育料の格差が大きい。格差を是正する支援が必要ではないか。

区長 ①平成19年度には新たに区立保育園5園で実施を予定しており、全園での実施が実現する。②利用実績な



保育園の子どもたち

ども踏まえ、必要な時に子どもを預けられ、安心して子育てできる環境づくりに向けて実施方法などを工夫したい。③認可保育所に入所できない認証保育所の利用者の中で、認可保育所よりも高額の保育料を支払っている方がいることは認識している。現在、負担軽減のための補助のあり方などを検討している。

いじめ問題の相談は
フェイス・トゥ・フェイスで

いじめの問題は、相談窓口

子ども医療費助成制度の
拡充を

日本共産党議員団 池田 一雄



病院の受付

東京都は07年10月から、中学生までの医療費自己負担額の3分の1の助成を発表した。医療費助成制度の拡充は、わが議員団が議会で再三提案し、区長への申し入れや毎年度の予算要望、さらに、今回の条例改正案の提起など、実現に向けて一貫して活動してきたところである。区長は本日、一般質問の答弁で、07年10月から中学生までの医療費無料化を公表した。実施にあたっては所得制限を設けないようにすべきではないか。

区長 現在、現物給付の形で10月から実施することを検討している。この事業は毎年、4億円の負担となるものだが、この額は所得制限をし

の周知と相談しやすい体制づくりが必要である。区では、11人の電話相談員が対応しているが、小中学校に向き、顔を合わせ、安心して相談できる体制をつくる必要があると思うがどうか。また、メールなども活用してはどうか。

教育長 いじめなどの相談にあたる相談員は、心理職や教職経験者など、子どもたちが信頼できる人物を配置している。相談員の顔などを知ってもらい、安心して相談できる方法を検討していきたいと考えている。メール相談の仕組みについても検討したい。

地域センターの転換計画を
再検討せよ

民主クラブ 佐伯 利昭

地域が望む児童館の転換を

地域センターを(仮称)区民活動センターへ転換するとしているが、①住民による自主運営は、地域住民の意向や議会での議論を踏まえ、見直すべきでは。②効率的な運営を進めるにあたっては、窓口の集約化や削減ありきではなく、一部業務の民間委託などにより、実施してはどうか。③住民票の発行などの窓口機能を残すべきでは。

区長 ①住民による、より良い運営ができるよう地域で話し合い、工夫していきたい。②アウトソーシングの推進などにより効率化を図りたい。③区施設間での証明書の取り次ぎ交付など総合的な充

効であり、損害額82万円余を返還させる旨の判決を下した。以前の監査委員の勧告と同様の結論であり、区民の信頼を回復するため、直ちに控訴を取り下げるべきではないか。

区長 有給休暇の取得承認や休職処分はやむを得ない事情により手続きが遅れたもので、有効な処分等であると判断しており、区に損害は生じていない。控訴審で改めて処分等の有効性を主張し、原判決の敗訴部分について取り消しを求めている。

介護保険認定軽度者の介護ベッド利用に助成を

06年4月から要介護1以下

の軽度な高齢者は、介護ベッ

ドなどの貸与が受けられなく

なった。その後、9月に都が

介護ベッド購入に対する助成

を発表したが、すでに多くの

自治体でレンタル助成などを

実施しており、23区では10

区に及ぶ。中野区においても認

定軽度者を対象に、電動式特

殊寝台や車椅子のレンタル助

成制度を、区独自施策として

創設してはどうか。

区長 区独自の、特殊寝

台や車椅子の貸与に関する助

成は考えていないが、車椅子

については、真に必要な人は

軽度であっても介護保険給付

の対象にすることができると

の計画では、児童館をU

18プラザやキッズ・プラザな

どに転換するとしているが、

①区は、地域協力を前提とし

ている。協力が当たり前との

考えは避けるべきであり、自

発的な動きを待つべきでは。

②土曜日の球技開放日数を増

加すべきと思うが、今後、キ

ッズ・プラザと球技開放など

との関係をどう調整するの

か。③U18プラザは、中高生

が望んでいるものとは思えない

もっと要望を聞くべきでは。

区長 ①地域の活動に参

加しやすい仕組みが住民に提

供されるよう、支援を進める。

②今後、学校ごとにキッズ・

子ども医療費助成の
拡充を問う

公明党議員団 やながわ 妙子

継続して要望してきた子ども医療費助成の制度化について、平成17年に助成制度が創設され、12歳までの入院費



相談受付ボックス

ブラザと球技開放などの調整を行う。③ハイテーン会議のメンバーなどと話す機会を持つてきた。今後も機会をとらえ、要望を聞きたい。

中野駅北口の文化継承を

①中野は沖縄文化が盛んである。この文化が継承できる場を中野駅北口整備計画の中に盛り込んで、活動をはじめた。行政も交流を始めては。



中野チャンプルーフェスタ

活動をはじめた。行政も交流を始めては。

区長

①駅周辺整備の全体を考える中で、あり方などを検討したい。②区役所にトロフィーを展示するなど、グランプリの受賞と中野の商店街の元気をアピールしたい。③今後、自治体間交流に発展しうるか、状況を見守りたい。

新しい公共経営への

理解に向け工夫と努力を



市民自治 はっとり 幸子

区長は財政再建への期待を担い、就任以来、区財政建て直しを進め、新しい時代のニーズにこたえて、区民サービスを充実させてきている。この成果を区民にもっと伝えるべきだ。また、持続可能な自治体と



小学校の米飯給食

経営改革へ

積極的な外部人材登用を

区の経営革新5か年プランでは、複雑・高度化

家庭教育の大切さを見直せ

自由民主党・民社クラブ 小串 まさのり



する行政ニーズに速やかに対応するため、内部では得られにくい高度な専門的知識や経験を持つ外部の人材を区政運営に生かすことが記されている。サンブラザ問題をはじめ、区民やNPO、企業などの協働を進める経営改革に向け、これまでの区政運営では予想も増えたと考えられる。現在の検討状況と今後についてはどうか。

区長

任期付職員制度や経験者採用制度を、区政のあらゆる場面で活用して人材確保を図っていききたい。

食育の取り組みに ホカホカの米飯給食を

子どもたちの健全な食生活が失われつつあり、解決への道筋がなかなか見えてこない。区だけの取り組みには限界があるが、健全な食生活が失われつつある子どもたちの危機的状況を救うためには、教育のみの問題ではなく社会の横断的な対応が必要である。高知県南国市では教室に家庭用の炊飯器を設置し、炊きたてご飯を学校給食に提供して成果をあげている。子どもたちの健全な育ちを応援し、健全な食への突破口にすべく、区で導入する考えはないのか。

区長

現在も米飯給食は給食の時間に合わせ、炊きたてご飯に近い形で提供している。教室での炊飯器による炊飯は、衛生管理や設備の問題などの課題がある。学校や保護者の意見を聞きたい。



地域のソフトボール大会

子育てや教育では、家庭、学校、地域の連携が重要であり、特に家庭の役割は大きい。子どもにとって一番大切なのは、温かい家庭である。家庭には家庭にしかできないことがあり、家庭でこそやらなければならない教育やしつけがある。家庭教育が本来果たすべき役割について、区はどのように考えているか。

区長

家庭は子どもの養育や発達について第一義的責任を負うが、近年、責任を持つて養育できない親も目立っている。親の養育力を向上させ、家庭教育の責任を果たせるよう支援すると共に、地域全体での環境づくりが大切と考えている。

地域の教育力向上を

①地域の教育力を高めるためには、青少年育成地区委員会や子ども会などの強化・育成を図る必要があるが、区はどう取り組むのか。②地域の果たすべき役割について考え、地域の会社、商店、事業所などの潜在的な力を生かして、地域の教育力を高める努力をすべきと考えるがどうか。

区長

①地域ぐるみで教育力を高めるため、地域の育成団体が果たす役割は大きい。今後設置予定の地域子ども家庭支援センターやU18プラザ

きな役割を果たす。今後、商店などの連携や情報提供の機会をつくっていく。

①少子化対策には、ありとあらゆる施策展開が必要であるが、これについては区はどう考えているか。②区長が20、30歳代の若者と交流する機会を設けると共に、子育て体験を共有するための親子交流の場を設けてはどうか。

少子化対策を拡充せよ

①少子化対策には、ありとあらゆる施策展開が必要であるが、これについては区はどう考えているか。②区長が20、30歳代の若者と交流する機会を設けると共に、子育て体験を共有するための親子交流の場を設けてはどうか。

①少子化対策には、ありとあらゆる施策展開が必要であるが、これについては区はどう考えているか。②区長が20、30歳代の若者と交流する機会を設けると共に、子育て体験を共有するための親子交流の場を設けてはどうか。

①少子化対策には、ありとあらゆる施策展開が必要であるが、これについては区はどう考えているか。②区長が20、30歳代の若者と交流する機会を設けると共に、子育て体験を共有するための親子交流の場を設けてはどうか。

区民の夢を応援する 総合奨学金制度創設を

年齢、性別を問わず、実現したい夢への意欲と、現実的なプランを持つ人を応援する必要性を訴え、総合奨学金制度創設を提案したが、現在の研究状況はどうか。まずは中野区の年間寄付金の1%を奨学金基金として積み立て、事業を開始してはどうか。

年齢、性別を問わず、実現したい夢への意欲と、現実的なプランを持つ人を応援する必要性を訴え、総合奨学金制度創設を提案したが、現在の研究状況はどうか。まずは中野区の年間寄付金の1%を奨学金基金として積み立て、事業を開始してはどうか。

今こそ学校教育の課題に 積極的に取り組み



公明党議員団 飯島 きんいち



小学校の通学路

①いじめ問題に対して「いじめを許さない、将来ある命を絶たせない」という関係者の議論と姿勢をメッセージとして示すことが大切と考えるがどうか。また、心理的抵抗が少なく、いつでも相談でき、秘密も守れるメ

②学校統合により、これまでより通学距離が長くなる児童・生徒の、通学路の安全確保をどのように考えているか。③統合新校を設置する桃

園第三小学校の体育館は、教育環境整備や防災対策のほか、建築基準法既存不適格の解決に向け改築すべきでは。

大増税による

区民のいたみを和らげよ



日本共産党議員団 小堤 勇

①大増税により「非課税」から「課税」になったことで、行政サービスを受ける際の負担が増した区民も多い。このような中、区民の負担を軽減する措置を講じる区が増えて

①大増税により「非課税」から「課税」になったことで、行政サービスを受ける際の負担が増した区民も多い。このような中、区民の負担を軽減する措置を講じる区が増えて

①大増税により「非課税」から「課税」になったことで、行政サービスを受ける際の負担が増した区民も多い。このような中、区民の負担を軽減する措置を講じる区が増えて

①大増税により「非課税」から「課税」になったことで、行政サービスを受ける際の負担が増した区民も多い。このような中、区民の負担を軽減する措置を講じる区が増えて

①大増税により「非課税」から「課税」になったことで、行政サービスを受ける際の負担が増した区民も多い。このような中、区民の負担を軽減する措置を講じる区が増えて

①大増税により「非課税」から「課税」になったことで、行政サービスを受ける際の負担が増した区民も多い。このような中、区民の負担を軽減する措置を講じる区が増えて



東大附属西側道路

的に進めてはどうか。
教育長 ①子どもたちに落ち着きが出たなどの報告を受けている。②都の計画の詳細を把握した上で検討していきたい。③学校の施設状況や地域バランスが基本となるが、学校の取り組み体制なども考慮に入れて選定していく。

電線的地中化を促進せよ

平成16年度に国土交通省から無電柱化推進計画の策定についての通達があり、中野区では5路線の無電柱化を計画

憲法擁護の立場から 国民保護法に慎重な対応を



無所属 むとう 有子

国民保護法には、地方自治体が政府の外交上の失敗を「下請け」的に補う側面があり、憲法の地方自治の本旨に對する重大な挑戦である。「憲法擁護・非核都市宣言」を持つ中野区はこの法律への対応に慎重であるべきだ。①拙速に国民保護計画を策定せず、時間をかけて区民の意見を十分に聞き、既存の計画案の変更も念頭に入れて策定すべきではないか。②自衛隊を参加させることにより区民が狙われる危険が増すのではないか。③避難場所とは具体的にどの場所を想定しているか。④避難指示に従わずに要避難地域に留まり、区の説得や警告に従わない人がいる場合、法的な手段または警察力をもって従わせることはあるのか。⑤

校庭の芝生化を問う

18年9月、若宮小学校の校庭が芝生化され、子どもたちと地域の方々により大切に育てられている。校庭を芝生化し、子どもと親、学校と地域がコミュニケーションを育む場所ができることは、いじめ問題の解決にも通じると思うが、①若宮小学校の児童の反応はどうか。②全公立小中学校を芝生化するという都の計画を受け、区はどのように対応するのか。③芝生化は、緑被率の低い南部地域から優先

しているが、①東大附属西側道路の整備進捗よく状況は。②中野駅周辺のまちづくりにおいて、電線的地中化を導入する考えは。③生活道路など歩道のない狭あい道路へ電線

区長

①電線類を共同溝に設置する作業などを行っており、来年度、供用を開始する予定である。②電線地中化も導入していきたい。③防災上の効果も高く、将来の重要な課題と考えているが、国の財政的支援などの問題があり、なかなか取り組めていない。

ごみゼロ中野を目指し 雨傘袋の使用をやめよ



憲法擁護・非核都市宣言

しっかりと手がけていく必要がある。雨の日に区役所の入り口に置かれる雨傘入れのビニール袋は、年間を通してみれば多量の不燃ごみとなっている。今は安価で優れた雨傘自動脱水機も開発されており、切り替えるべきではないか。

区長

脱水機は一本当たりの処理に3〜5秒の間がかかり、一度に多数のお客様が来庁した場合、対応が難しい。また、既に導入した施設でも、水滴が残るためビニール袋に入れている。先に導入した杉並区でも、設置を取りやめたと聞いている。

「三方よし」の発想で 子育て支援の充実を



無所属 奥田 けんじ

子育て支援は一層の充実が必要であるが、自治体にとって財政的負担が少なく、区民、事業者、自治体三者にメリットのある「三方よし」の発想による取り組みを目指すべきと考える。石川県では、子どもが3人以上いる世帯を対象に、「子育てにやさしい企業推進協議会」が発行するパスポートを協賛企業に提示すると、利用者割引や特典が受けられる「プレミアムバスポート」事業を実施している。自治体の財政負担は少なく、協賛企業は売り上げ機会の拡大、協賛金融機関から低利で融資が受けられるなど、三者にメリ



親子で体操

ットがある。区でも同様の事業を導入できないか。区長 石川県は広域自治体であり、面積、人口密度など地域の特性が異なっているため、同じ事業を区に導入することは難しい。区内の事業者が子育て支援に積極的に取り組める方策を考えることは

大変重要であり、検討していきたいと考えている。

地域問題の解決には ADRの利用を検討せよ

地域の問題を解決する手段としてADR（裁判外紛争解決手続）という制度があり、法律も公布され、平成19年4月に施行される。低コスト、非公開などのメリットがある。行政として利用促進などに向けた検討を行ってはどうか。

区長

紛争解決手段の一つとして注目されていると認識している。今後、制度の周知や手法の活用方法について研究していきたい。

中野区歯科医師会委託費に かかる区の責任を問う

中野区歯科医師会委託事業の委託費が、平成9年度から12年度に1200万円余が未清算であったことについて報告を受けているが、責任の所在が明確になっていない。原因の究明、予防策の検討実施、類似案件の精査は説明責任に過ぎず、結果責任を果たしたと思えない。結果に対する責任を負う姿勢が必要と思うがどうか。

区長

11年間にわたり、契約書の内容確認や、事務執行手続きを不断に見直していなかったことが原因と考える。再発防止のため、職員の意識改革、組織全体の事業のあり方などを検証し、改善に努めていく中で責任をとっていきたいと考えている。

第4回定例会

可決した議案

区長提出議案

●平成18年度中野区一般会計 補正予算(第3次)

歳入歳出にそれぞれ1億4047万1千円を追加し、予算の合計額は、892億2125万8千円となりました。

●中野区組織条例の一部を改正する条例

政策室、経営室および管理会計室を設置し、区長室および総務部を廃止します。

●中野区副区長定数条例

地方自治法の改正に伴い、副区長の定数を3人とし、《付帯意見》総務委員会では、本議案を可決すべきものと決するにあたって、次のような付帯意見を付けました。

「本条例は10年計画の確実な執行にあたり、自治法改正の趣旨に則り区民福祉の向上のため、体制の一新と強化を目指すものである。特別職である副区長の選任においては、事務配分の工夫や事務執行の効率化を最大限にすめ、責任の明確化を図るよう努力されたい。」

●中野区行政財産使用料条例の一部を改正する条例

障害者福祉会館のゲートボール場の廃止に伴い、規定整備を行います。

●中野区長期継続契約を締結することができる契約を定める条例

長期継続契約を締結することができると定めます。

●中野区国民保護対策本部及び中野区緊急対処事態対策本部条例

中野区国民保護対策本部および中野区緊急対処事態対策本部の職員、組織、職務などを定めます。

●東京都後期高齢者医療広域連合の設立について

老人保健法の改正に伴い、後期高齢者医療の事務を処理するため、東京都の区域内のすべての区市町村が加入する広域連合を設立する協議に当たり、議会が議決をしました。

●中野区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

特別区人事委員会の勧告に基づき、職員の給与を引き下げます。

●中野区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

退職手当の額に、在職期間中の職務・職責に応じた貢献度を、よりの確に反映するため、退職手当の額の算定方法を変更します。

●中野区立幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

特別区人事委員会の勧告に基づき、幼稚園教育職員の給与を引き下げます。

議員提出議案

●決議(一件・前収入役に対する感謝状贈呈に関する決議)

請願・陳情の
審議結果

不採択

(18)第30号陳情 区議の費用
弁償に関する陳情
賛成少数

継続審査

《総務委員会付託》
(18)第24号陳情 中野サンプ
ラザについて

第4回定例会における請願・
陳情の審議結果をお知らせし
ます。()内の数字は年で
す。

採
択

(18)第1号請願 上鷺宮5丁
目広場の使用について
上鷺宮5丁目広場の土地利
用に際し、現在利用者の意向
を最大限に考慮した計画の遂
行を要望します。
― 全会一致 ―

閉会中の委員会の動き

平成18年11月

▼総務委員会

11/10 報告7件を聴取

▼区民委員会

11/8 報告5件を聴取

▼厚生委員会

11/13 報告2件を聴取

▼建設委員会

11/8 報告3件を聴取

▼文教委員会

11/10 報告3件を聴取

▼議会運営委員会

11/13 第4回定例会の日
程などを協議、陳情1件を
審査

11/20 第4回定例会の招
集日の確認や日程などを協
議

▼防災対策特別委員会

11/6 報告3件を聴取

意見の分かれた案件(第4回定例会)

【○：賛成 ×：反対 ―：退席】

件名	等 議員数 (議員数)	自・民 (16)	公 明 (8)	共 産 (8)	民主 クラブ (4)	市 民 (2)	無所 属 (3)	結 果
区長提出議案								
平成18年度中野区一般会計補正予算		○	○	×	○	○	○-	可決
中野区組織条例の一部を改正する条例		○	○	×	○	○	○×	可決
中野区副区長定数条例		○	○	×	×	○	×	可決
中野区国民保護対策本部及び中野区緊急対処事態対策本部条例		○	○	×	○	○	○×	可決
東京都後期高齢者医療広域連合の設立について		○	○	×	○	○	○×	可決
同意案件								
中野区助役選任の同意について		○	○	×	×	○	×	同意
中野区収入役選任の同意について		○	○	○	○	○	○×	同意
中野区教育委員会委員任命の同意について(菅野泰一氏)		○	○	○	○	○	○×	同意
陳情								
(18)第30号陳情 区議の費用弁償に関する陳情		×	×	○	×	○	○	不採択

※議員数は議長を除く。

無所属議員については、会派と同様の扱いで掲載しています。

会派等の略称 〔自・民：自由民主党・民社クラブ、公 明：公明党議員団、共 産：日本共産党議員団〕
〔民主：民主クラブ、市 民：市民自治、無所属：無所属議員〕

区議会を
傍聴してみませんか

本会議や委員会の傍聴は、
どなたでもできます。傍聴希
望の方は、会議の当日、区議
会事務局(区役所議会棟3階)
で傍聴の手続きをしてくださ
い。受け付けは会議開会の1
時間前から、入場は30分前か
らになります。本会議は定員

100人、委員会は定員15人
です。
なお、携帯電話の持ち込み
は禁止となっています。お持
ちの方は、事務局でお預かり
します。

【問合せ】区議会事務局
電話3228-8870

利用と
保存

●本会議録画ビデオ

本会議を傍聴できない方の
ために、本会議の様子を録画
したビデオテープの貸し出し
をしています。

ご希望の方は、区役所1階
区政資料コーナーまで。

●声の区議会だより

目の不自由な方のために、
区議会だよりを朗読録音した
カセットテープ「声の区議会
だより」を発行しています。



今後の議会日程

現在予定されている議会日程は、
次のとおりです。

●第1回定例会

2月20日～3月15日

●閉会中の委員会

厚生委員会 1月26日

文教委員会 2月7日
議会運営委員会 2月6日



予定は変更されること
があります。詳しくは、
中野区議会ホームページ、
または区議会事務局
(電話3228-5585)へ。

中野区議会は、
虚礼等の廃止を決議しています

《虚礼等廃止の主な事項》

- 時候の挨拶状の送付
- 中元、歳暮等の贈答
- 慶事、弔事についての廃止事項
 - ①祝儀、香典、供花の贈与
 - ②祝電、弔電等の発送
- 病気等の見舞における金品等の贈与
- 新聞、雑誌、名簿、掲示板等への広告
- 各種行事、各種団体に対する寄付・カンパ、祝儀、祝電、金品等の贈与等

※本人または配偶者が出席する場合は、会費相当額
を限度とする。

区議会各会派のEメールアドレス

自由民主党・民社クラブ jimin.nakanokugikai@mbg.nifty.com
公明党議員団 komei.nakanokugikai@mbg.nifty.com
日本共産党議員団 jcp.nakanokugikai@mbg.nifty.com
民主クラブ min-ku.nakanokugikai@mbg.nifty.com
市民自治 siminjichi.nakanokugikai@mbg.nifty.com

道路大会に参加

第17回東京都道路整備事業
推進大会が、平成18年11月8
日、日比谷公会堂で開催され
ました。

この大会は、東京の交通混
雑の緩和や安全で快適なまち
づくりのために、道路、橋り
よう、鉄道連続立体交差の整
備などの推進を図ることを目
的としています。

中野区からは、議長をはじめ
とする議員代表のほか、区
長、関係職員などが参加しま
した。

大会では、国や都に対して
より良い道路整備を求める宣
言や道路整備財源の充実強化
などを求める決議を行いました。

区議会だよりへのご意見、ご要望などは
区議会事務局へ

〒164-8501 中野区中野4-8-1
電話 3228-5585 FAX 3228-5693
Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp